

未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業 授業改善セミナー

# 教科指導講座報告

**道南ブロック  
地理歴史・公民科**  
令和3年12月23日  
(主管教育局 檜山教育局)

令和3年11月29日(月)、北海道登別青嶺高等学校を会場に、地理歴史科・公民科の授業改善セミナー(教科指導講座)を開催しました。今年度の本講座は、令和3年度「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」(研究指定校:登別青嶺高校)の研究協議会を兼ねて開催され、胆振管内を中心に、石狩、日高、渡島、宗谷管内から、19名(Zoomでの参加含む)の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用願います。

## 教科指導講座の概要

テーマ 地理歴史科・公民科における学習評価の改善・充実  
「私たちは学習評価の改善・充実のために、どのような準備をすればよいのか」

### 本講座の概要

#### 【説明Ⅰ】

教科担当指導主事が、「学習評価の指導と充実」について、「単元の指導と評価の計画」を作成することの重要性や、単元及び評価への総括の方法について、重点的に説明を行いました。

#### 【説明Ⅱ】

登別青嶺高校の柳澤久志教諭が、新科目「公共」を踏まえた「現代社会」の取組や、次年度から実施する学校設定科目「じもと学」を通じた主権者教育の展望について説明しました。

#### 【研究授業・研究協議】(詳細は裏面)

登別青嶺高校の久井秀高教諭が、1学年「現代社会」において、模擬裁判の授業を行いました。生徒が、実際の裁判官や弁護士による裁判を通じて、裁判員として求められる公平公正な判断や、論拠をもって表現することの大切さなどについて学びました。

その後、生徒が本時で書いたワークシートの記載をもとに、授業の前後で、生徒の思考がどのように変容したかを研究協議で明らかにしました。

#### 【ワークショップ】

教科指導アドバイザー4名が実践発表を行いました。

- ①「問い」を表現する授業実践  
(世界史:長谷川優教諭(室蘭栄))
- ②単元ポートフォリオ等を活用した学習評価の実践  
(日本史:渡邊大輔教諭(松前))
- ③作業学習や地域学習を中心とした授業実践  
(地理:石崎洋志教諭(函館西))
- ④「総合的な探究の時間」と連携した主権者教育の実践  
(現代社会、政治・経済:嶋木勉教諭(苫小牧西))

#### 【講演】(詳細は裏面)

文部科学省初等中等教育局教育課程課飯塚秀彦教科調査官から、「新科目「公共」における学習指導及び評価のポイントについて」と題して御講演をいただきました。

### 本講座の実施により期待される成果

- ・地理歴史科・公民科における学習評価の指導と充実
- ・実践的な「教科指導力」の一層の向上
- ・実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムの取組の進展

## 教科指導講座の実施状況

### 【研究授業・研究協議】

今回の研究授業は、令和3年度「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」の一環として、準備が進められてきたものです。

本時は、札幌地方裁判所刑事部宇野遙子裁判官、北海道みらい法律事務所本間寛菜弁護士、増川拓弁護士による模擬裁判の視聴を通して、生徒が裁判員として裁判に参加する際に求められる公平公正な判断を多面的・多角的に考察したり、事実を基に構想したことを、論拠をもって表現したりすることをねらいとして実施されました。

生徒は窃盗事件を事例とした模擬裁判から、自分ならどのような判決を出すかを考え、理由と併せて説明しようとしていました。

その後の研究協議においては、授業者の久井教諭から、授業で生徒が記載したワークシートの記述内容から、「公正とは何か」「裁判に臨む心構え」について、生徒の思考が深まったという報告がありました。



### 【講演】

講師である文部科学省初等中等教育局教育課程課飯塚秀彦教科調査官から、「新科目『公共』における学習指導及び評価のポイントについて」と題して御講演をいただきました。

「公共」の指導においては、「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の推進が必要であること」、「深い学びの鍵となる『見方・考え方』を働かせることが重要であること」、「『社会的な見方・考え方』を働かせる『問い』の設定が不可欠であること」など御教示いただきました。

また、公民科の学習評価においては、生徒の学習改善につながるものが重要であることから、そのため、単元というまとまりの中で学習指導と学習評価を実施することが求められていること、また、公民科の「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、「単元を貫く問い」を設定した上で、「単元のはじめに見通しをもたせる」、「単元の途中で振り返らせる」、「単元の終わりで振り返らせる」ことで見取ることができるということなどについて御教示いただきました。



## 教科指導講座参加者の声

### 【参加者の声】

- 学習評価に関して、自分の学校が遅れていることを実感しました。教務部とも相談しながら、評価の在り方について検討していきたいと思えます。
- 登別青嶺が取り組む主権者教育プログラムは完成度が高く、主権者教育を前面に押し出す先行事例として大変参考になりました。
- 本物の裁判官や弁護士に触れたことによって、生徒たちの司法制度への関心や学習意欲が高まり、公正・公平な判断に関する学習の質的な深まりを引き出すことができているように感じました。
- 飯塚調査官の話が聞けるということで参加させていただきました。とても勉強になりました。また、他のスペシャリストの先生方の実践を聞き、モチベーションが上がりました。本当にありがとうございました。

### 【参加者アンケートの結果（一部）】

- 1 紹介した教材や指導方法は活用できましたか。
  - ・大いに活用できる 23.1%
  - ・活用できる 69.2%
- 2 教科における「探究的な学び」に関する理解は深まりましたか。
  - ・大いに深まった 23.1%
  - ・深まった 69.2%
- 3 「学習評価」に関わる理解は深まりましたか。
  - ・大いに深まった 23.1%
  - ・深まった 69.2%
- 4 あなたの授業改善に役立ちましたか。
  - ・大いに役立った 38.5%
  - ・役立った 53.8%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

< 檜山教育局ウェブページURL >

[https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hyk/05\\_koukouhan.html](https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hyk/05_koukouhan.html)